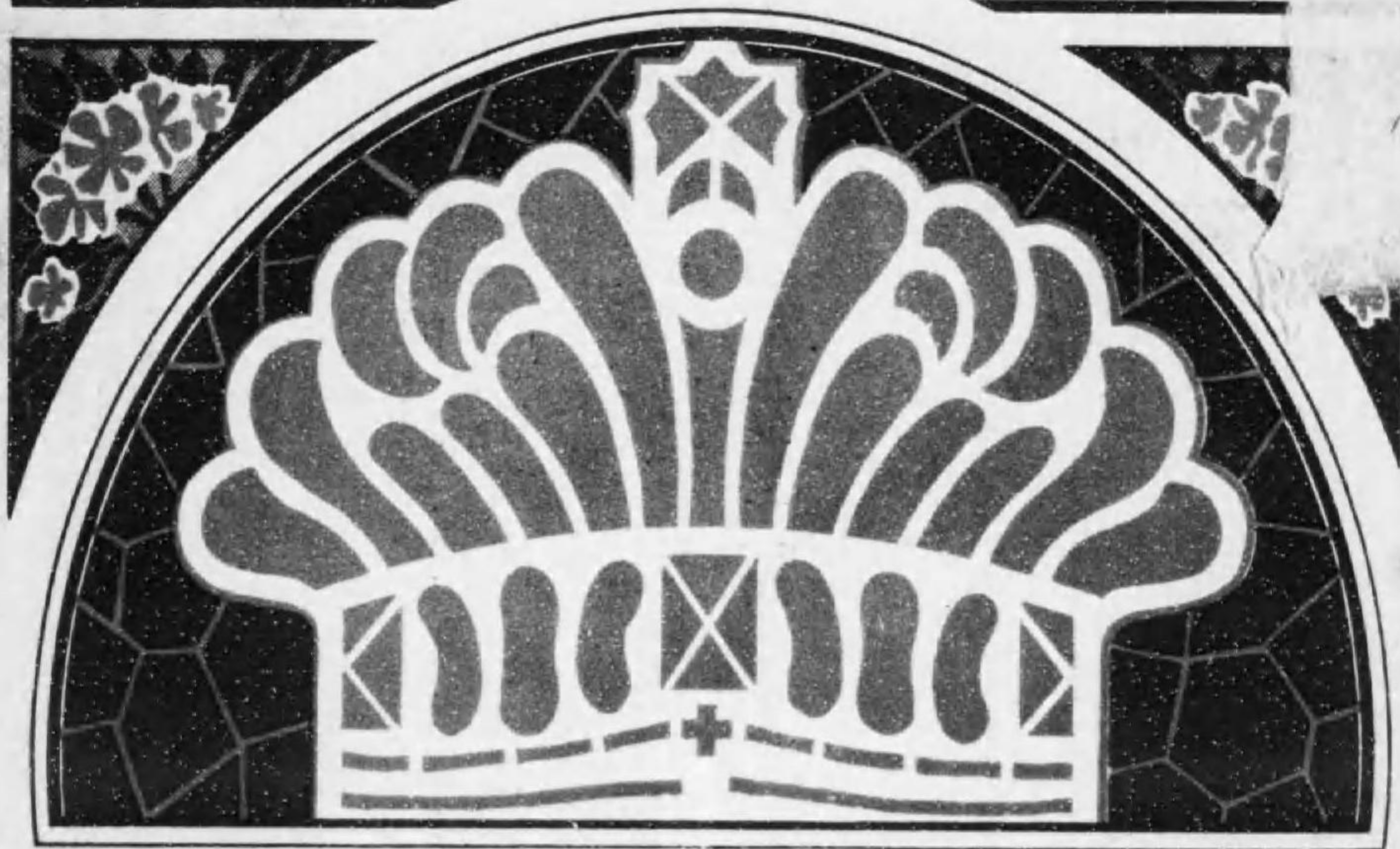


皇料型

特 115

801



第壹卷

第叁號

R. I. O.



始



特 15
80/

向 虎 印 布 鏝

獨逸品虫印の代用品

發 賣

各番共壹哩金拾壹圓

東京市日本橋區本石町四丁目一番地

塗料直輸入商 飯田連庫本店

特 約 販 賣

御照會次第
見積書提出
可仕候

日本キエイン製造株式会社・本邦唯一ノロイド指定・

取 締 役 務 阿部億次郎
資 本 金 金拾五萬圓
一ヶ年 生 産 額 約 五 拾 萬 圓
設 立 大正四年三月
取 締 役 兼 支 配 人 伊 丹 重 太 郎

標 商 **ICI** 標

試 驗 機	製 材	營 業
協 會 工 業 證 明 書 及 海 外 行 事	英 國 總 機 械 工 業 會 社 證 明 書 及 海 外 行 事	各 種 火 災 保 險 公 司 及 附 屬 各 種 工 業 製 造 各 種 工 業 製 造 各 種 工 業 製 造

大阪市西區石田町壹番地 電話 西 五 三 九 番

尾張屋

東京市日本橋區本石町四丁目角

飯田連庫本店工業部

電話本局 長 七 五 二 番 二 〇 二 九 番

特115
801

向虎印布鑢

獨逸品虫印の代用品

發賣

各番共壹哩金拾壹圓

東京市日本橋區本石町四丁目一番地

塗料直輸入商 飯田連庫本店

特約販賣

日本千工工業株式會社

本邦唯一ノロイド指定

大阪市西區石田町壹番地

電話 西五三九番

取寄 阿部億次郎

資本金 金拾五萬圓

約五拾萬圓

設立 大正四年三月

取締役兼支那人 伊丹重太郎

商標 INI

營業	材料	製造	試驗機
各種工業用及附屬品之製造各種材料之試驗及各種材料之輸入	英國、德國、法國、美國、日本、直輸入、各種材料	各種工業用材料之製造	各種工業用材料之試驗機

御照會次第見積書提出可仕候

尾張屋

東京市日本橋區本石町四丁目角
飯田連庫本店工業部
電話本局 西七五二番
二〇二九番



フエニツシング、ボデー
 一號 ボデー
 キヤレツヂ、ワニス
 コーバル、ワニス
 ゴールド、サイズ
 ブラツク、ヂヤパン
 ブラツク、ワニス

ぼでーは舶來品の何も
 のよりも勝る事は既に
 試験の上證明されたり
 コーバル、サイズは今迄
 になき安値にて販賣す

飯田本店製品部

ニク 印冠王

言論

染料製造の世界的趨勢
 を論じて我國の現状及
 び將來に及ぶ(二)

K 生

米國染料工業

米國の染料は常に大部分獨逸、佛蘭西、英吉利等より輸入し居りしと雖も歐洲大動亂により輸入全く杜絶するに至れり茲に於て上下共に該工業につき没頭し論議研究するに至れり。元來米國にも從來染料製造工業の存在せりと雖もコールタールその者より製造せられしにあらざして其原料を獨逸より輸入しつゝありし有様なり、現今米國に於ける識者の研究により米國の染料工業状態を解剖し本論を進むるの

言論

道程に登らんとす。

染料の需給及製造状態

米國の染料需要は壹ヶ年を通じて壹千萬弗即ち我二千萬圓と見て大過なからん、今其大略を統計表により算出すれば千九百十三年度に於て米國が外國より輸入せる染料の總額はアリザリン染料及人造藍を加へて七百十萬五千貳百八十四弗我約千四百萬圓なり而して内地に於て製造せらるゝものは千九百十年の國勢調査表によれば三百四十六萬二千四百三十六弗我約七百萬圓なり、これ等は皆上述の如く獨逸の原料によりて製造せられたるものなり、米國はこれ等の原料を内地に於て得られざるかといふに決して左にあらざる、之れを供給するには十分なるコールタールの産出ありと雖も種々の理由により値段甚だ高く染料原料としては不適なり、如斯豊富なるコールタールを有しながら何故に染料工業の發達せざる

一



フエニツシング、ボデー
 一 號 ボデー
 キヤレツヂ、ワニス
 コーバル、ワニス
 ゴールド、サイズ
 ブラツク、ヂヤパン
 ブラツク、ワニス

ぼデーは舶來品の何も
 のよりも勝る事は既に
 試験の上證明されたり
 コーバル、サイズは今迄
 になき安値にて販賣す

飯田本店製品部

スニク 印冠王

言論

染料製造の世界的趨勢を論じて我國の現状及び將來に及ぶ(二)

K 生

米國染料工業

米國の染料は常に大部分獨逸、佛蘭西、英吉利等より輸入し居りしと雖も歐洲大動亂により輸入全く杜絶するに至れり茲に於て上下共に該工業につき没頭し論議研究するに至れり。元來米國にも從來染料製造工業の存在せりと雖もコールタールその者より製造せられしにあらずして其原料を獨逸より輸入しつゝありし有様なり、現今米國に於ける識者の研究により米國の染料工業狀態を解剖し本論を進むるの

言論

道程に登らんとす。

染料の需給及製造狀態

米國の染料需要は壹ヶ年を通じて壹千萬弗即ち我二千萬圓と見て大過なからん、今其大略を統計表により算出すれば千九百十三年度に於て米國が外國より輸入せる染料の總額はアリザリン染料及人造藍を加へて七百五十萬五千貳百八十四弗我約千四百萬圓なり而して内地に於て製造せらるゝものは千九百十年の國勢調査表によれば三百四十六萬二千四百三十六弗我約七百萬圓なり、これ等は皆上述の如く獨逸の原料によりて製造せられたるものなり、米國はこれ等の原料を内地に於て得られざるかといふに決して左にあらず、之を供給するには十分なるコールタールの産出ありと雖も種々の理由により値段甚だ高く染料原料としては不適なり、如斯豊富なるコールタールを有しながら何故に染料工業の發達せざる

一

また何故其原料を獨逸に招きて内地のそれに及ばざる、思ふに米國も亦た平素之れ等に關して深く思念せず自然の成行に任せありしものにして今回の動亂により著しき打撃を受け學者實際家も等しくこの問題を研究するに至りしは悉く其の軌を一にする所なり、米國の染料工業の將來果して如何、紐育大學に於けるヘッセー博士の講演によりて聊か米國の染料工業の將來をトせんトす。

ヘッセー博士は獨逸染料工業の顯著なる發達を爲せる事を指摘して曰く獨逸は染料工業の本場なるを以て各技術者は皆争うて新發見を爲すことに苦心するの結果遂に幾千種の色素を製出せしむるに至り他國に於てまた企て及ばざるもの多しかるが故に益々獨逸工業の發展を見に至りたる者なり、また染料工業は化學藥品工業とは離るべからざる關係のもとに立ち居るものにして化學藥品工業の發展進歩を外にして獨り染料工業の進歩を望むべからず、其關係の

密接なる度を加ふるに従つて益々經濟的發展の圓滿を來す者なり。今や獨逸の化學藥品工業は其の高潮に達し他の工業と複雑なる關係に立つこは染料工業の一大發展進歩の因ならざるはなし。以上の如くして二者の關聯的發達もコールター染料製造上より來る補助劑の需要の便宜及副生物の處分等圓滿に行はるゝを以て工業そのもの、獨立上何等の不安なく易々として只だ向上の一路あるのみこれを他國の四圍の事情と對比すれば蓋し思ひ半に過ぐる次第にして各人共長大息して獨逸の獨占的該工業を詛ふに至る。斯くの如き關係のもとに發展せる獨逸の染料工業を移植して而して其成功を見得べきや是れ頗る疑問とせざるべからず、今や米國は九箇所の製造工場ありて相當の成績を上げつゝありと雖も未だ以て内國の需要に應じ能はざるは勿論殆んど全部の原料を外國に仰ぎつゝある有様にては容易に獨立を企畫し能はざるべし、ヘッセー博士は論じて曰く若し夫れ

米國にしてコールター染料工業を移植せんとすれば最初七種の染料の製造に着手せざるべからず、而して此れが事業を計畫するに當つては先づ初期に於て五十萬弗即ち我が一億圓の現金を該製造工業の設備及び流動資金に當てざる可からず、斯くして迄も十分なる成算は甚だ困難なりといふに至りては獨逸が今日迄該工業に莫大なる犠牲を供し斯くてこの効を納めたるを知ると共に吾人は新に立たんとする該工業の前途に對ししばしの瞑目を爲さざるべからず知らず前途明か暗か！ヘッセー博士の多年の研究も容易に事業の獨立を齎らし得ず、以上論ずるが如く殆んど絶望の淵にあるものと曰はざるべからず上述の如く米國はコールターに富み、大なる知識を有し、富力また之れに伴うて尙且つ此の事業を大成せしめ得ざる實に奇なりといふべし、これを思へば染料工業の前途を思索する事の不快に想到し筆硯茲に擲つてまた顧みるの勇氣なからんとす、然し

ながら問題を掲げたる以上は筆者の責あり進まぬ筆を走らせ以て其責を了はらんとす、知らず英國の思潮や如何を、次に筆を改め硯海の水を清めて三たび讀者に見えんとす。(未完)

學 術

白色ペイントにて塗りたる柵の被覆力に就て

T 生

各種の白色ペイントを以て塗用せる露天柵を外氣に暴露すること拾參ヶ月間にして其被覆力を檢定したる結果を示さんとす但實際使用せる白色ペイントを種別すれば左の如し、

- (一) 鉛白、亞鉛華、白色鹽基性硫酸鉛及ヂンクレッド、ホワイトの三種を包含せる者、
- (二) 八割乃至五割の鉛白と貳到乃至五割の亞鉛華

白色鹽基性硫酸鉛、硫酸、石綿、陶土、炭酸石灰、硫酸石灰、或は硫酸バリウムとより成立せる者、

(三) 鉛白に亞鉛華或は白色鹽基性硫酸鉛及他種顏料の一種を種々の割合に練和せる者、

(四) 鉛白、亞鉛華、白色鹽基性硫酸鉛及他種顏料等の量を混和せる者、

右第一種のペイント中デック、レッド、ホワイトを除去したる單一ペイントは混合ペイントに劣り塗面に微細なる龜裂を生ぜるを見るべし第二種及第三種に屬せるペイント中亞鉛華を混入せるものは其然らざる者に比して白色にして清淨且龜裂を生ぜる事少く第四種のペイントは最優秀なる結果を得たり。

セメントの表面に塗用せるペイントの耐久力に就て

T 生

混凝土の外面に三十五種類のペイントを塗布し之

を貳ケ年間雨露に晒し其耐久力を試験せる結果次に記述せる結論を得たり 即 鉛白又は亞鉛華或は兩者の混合物を純粹なる亞麻仁油に研和せるペイント或は生亞麻仁油及煎煮せる亞麻仁油の混合物に研和せる者或は支那木油にて處理せる者及ターペンチンにて稀釋せる者は概して良好の結果を與ふれども酸性樹脂を含有せる假漆及酒精製假漆より製出せるペイント膠或は酪素製ペイントは全く之に反するを見る。

外面濕潤せる混凝土にありては其中に包有せらるる遊離石灰を中和せんが爲に硫酸亞鉛を以て下塗をなすを可としセメント床には磨滅し難き顏料を含有せるペイントを使用するを有効とす。

白色顏料の分析法

T 生

鉛製顏料中に含有せらるる鐵の定量法、試料を

強硝酸一分と水一分とよりなれる稀硝酸に溶解し水を以て稀釋したる後之に硫酸を加へて、鉛を沈澱せしめ濾液に硫酸加里を加へて比色法に依れば鐵を定量し得るなり。

一、鉛 白

(A) 鉛白中の總鉛量檢定法

一瓦の顏料を硝酸(強硝酸一分と水一分)に溶解し之を煮沸し温湯を加へて約百貳拾珄に稀釋して濾過し其濾液に二十珄硫酸(強硫酸一分水一分)を加へ烟氣の發散するに至りて蒸發を止め該液に百五拾珄の水及百五拾珄の酒精を加へて貳時間靜置し之を濾過す而して硫酸鉛は九拾五パーセントの酒精を以て洗滌し攝氏百拾度に於て一時間乾燥の後之を秤量すべし。又別に鉛をクロム鹽類として沈澱せしめ之れを秤量する方法あり。

醋酸或は他の有機物現存せざる時は一瓦の顏料を乾燥空氣(二酸化炭素を含有せざる)の氣流中に熱し分解作用に依りて生じたる水分及炭酸瓦斯を各自適宜の裝置を用ひて吸收せしめ殘渣たる酸化鉛を秤量し炭酸瓦斯は炭酸鉛に水分は水酸化鉛に換算するを得べし。

(B) 醋酸の定量

醋酸を定量せんと欲せばトムソン氏方法に準據するを便とす。

(C) 金屬鉛の定量

五拾瓦の試料に四拾パーセントの醋酸六拾珄を加へて煮沸し其溶液を稀釋して清澄なる液を傾瀉し殘渣に三百六拾珄の安母尼亞と千八拾珄の水及八拾パーセント醋酸の二千百六拾珄との混合液の百珄を加へて煮沸すべし此際生じたる溶液を稀釋傾瀉し殘渣たる金屬鉛を乾燥し之を秤量すべし。

二、鹽基性硫酸鉛

(A) 水分の檢定

貳瓦の顔料を攝民百五度の溫度にて熱すること貳時間にして其重量減少の量より測定するを得るなり。

(B) 可溶性硫酸鹽類の總量檢定

壹瓦の試料に拾瓦の水と臭素を加へて飽和せる強鹽酸の拾瓦及五瓦の鹽化安母尼亞を加へて蒸氣浴上にて熱すること五分間にして水を加へて總容量四百瓦に達せしめ更に五分間煮沸したる後濾過すべし。
鉛を除くせんが爲に濾液に炭酸曹達を加へて處理し硫酸鹽類は鹽化バリウムを加へて之を沈澱せしむべし。

(C) 可溶性硫酸亞鉛の定量

貳瓦の試料に百五拾瓦の水及五拾瓦の酒精を加へ

て煮沸すること參拾分間にして之を濾過し其殘渣を酒精一分水三分の稀酒精にて洗滌し其濾液より硫酸鹽類を沈澱せしむることを得べし。

(D) 石灰及マグネシウムの現存に於て鉛及亞鉛を總量する法

鉛は硫化物として沈澱せしめ後更に硫酸鹽類となして秤量し且濾液を煮沸し鐵分は臭素を加へて酸化し之に安母尼亞を加へて鐵及アルミニウムを沈澱せしむ。
滿俺の現存するあらば臭素水及安母尼亞にて沈澱せしめ三酸化滿俺として秤量するを得。
前記の操作に依りて得たる濾液を集め醋酸にて酸性となし之を煮沸し硫化水素を加へて飽和状態に至らしめ更に五瓦の鹽化安母尼亞を加へて處理し五時間静置すべし後硫化亞鉛は鹽酸に溶解し磷酸鹽類として定量するを得石灰及マグネシウムは濾液より檢出せらる。

(E) 亞硫酸瓦斯の定量

貳瓦の試料に百瓦の冷水(豫め煮沸し酸素を驅除せる)及五瓦の鹽酸を加へて拾分乃至拾五分間煮沸し之に百分の一規定沃度液の過剰を加へ次亞硫酸曹達に滴定すべし。

三、亞鉛華

(A) 灼熱減量檢定

壹瓦の試料を文火上にて拾五分間熱し其灼熱損失量によりて知るを得べし。
他の成分は前記の分析方法に依りて檢定する者とす。

四、リソポーン

ド、ロー及コバル氏の方法にて分析せらる。

五、石灰顔料(白堊)

(A) 水分及灼熱減量檢定

前記の方法に依る。

(B) 石灰及マグネシウムの定量

石灰は修酸鹽類として沈澱せしめ酸化石灰として秤量しマグネシウムは其濾液より沈澱秤量すべし。

(C) 亞留加里度の檢定

貳瓦の試料を採り之に百瓦の水を加へて五分間煮沸したる後拾分の一規定酸にて滴定す此際用ふる指示薬はフェノールフサレンとす。

六、石膏

石膏中の水分及結合水を檢出せんと欲せば壹瓦の試料を採り之を磁製坩堝に入れ蓋をなし石棉板上にて熱すること拾五分間更に文火上にて暗赤熱に熱すること拾分間終に參拾分乃至四拾分間低温に於て熱し其重量の一定不變に達するに至りて止む。

鹽酸に可溶性及不溶性成分、可溶性硫酸鹽類及酸を注加して發生する炭酸瓦斯の測定は普通の方法に依る者とす。

七、バリウム顔料

水分、灼熱減量、不溶解物、アルミナ、酸化鐵、可溶性硫酸鹽類、炭酸、バリウム、鐵及水に可溶性成分を検出すること前記の方法の如し。

八、硅酸顔料

不溶解物を検出せんとせば貳瓦の試料を五拾五の鹽酸(強鹽酸一分水一分)と共に參拾分間煮沸し之に五拾五の水を加へて稀釋し後濾過すべし而して其含有量九拾五パーセント以下たるべからず。硅酸量は殘渣に硫酸及非化水素を加へて處理し其減量に依りて檢定せらる。

アルミニウム、鐵、石灰、マグネシウムは殘渣及

濾液より檢出するを得べし。

九、陶土及石綿分析方法

普通は定性法のみにて足れりとすれども完全定量分析を爲さんと欲せば壹瓦の試料に拾瓦の炭酸曹達を加へて熔融すること參拾分乃至壹時間の後温湯にて處理し鹽酸を以て酸性となし而して硅酸、バリウム、アルミニウム、鐵、石灰及マグネシウム、炭酸瓦斯、可溶性硫酸鹽類等を定量するを得べし。

ターペンチン油の檢定法

無名氏

米國産ターペンチン油の檢定に當りて必要なる諸條件を列擧すれば次の如し。

- (一) ゴム、ターペンチン油なるか或は木ターペンチン油なるかを知るを要す。
- (二) 清澄にして浮遊物及水を含む有すべからず。

(三) 標準色に匹敵する者たるべし。

(四) 比重は攝氏拾五度半に於て〇、八六〇乃至〇、八七五の限度にあるを要す。

(五) 攝氏拾五度半に於ける屈折率は壹、四六八乃至壹四七八たるべし。

(六) 蒸餾温度は攝氏百五拾度乃至百六拾度に始まり

(七) 百七拾度以下に於て油量の九割蒸餾するを要す。

(八) 重合殘渣は壹パーセントを超ゆべからず而して拾五度半に於ける屈折率は壹、五〇〇以下たるべからず。

分析方法

比重の測定に當りては檢定當時の油の温度攝氏拾五度半より壹度の差ある毎に因數〇、〇〇〇八貳を屈折率にありては〇、〇〇〇四五の補正をなすものとす。

分餾装置は普通のエングララー氏のフラスコ及冷却器を用ひ壹秒時に貳滴の割合にて蒸餾するを要す。寒暖計(百四拾五度より貳百度迄刻度せるもの)の水銀球はフラスコの瓦斯誘導管の反對側に支持せられ百七拾五度の刻度は塞子以下たるべし。重合作用を檢定せんと欲せば參拾八倍規定硫酸の貳拾五を刻度せるパツゴック、フラスコに入れ之を氷水にて冷却しつゝターペンチン油の五五を徐々に注加し其温度を六拾度以下に保たしめ反應完結すればフラスコを六拾度乃至六拾五度の水中に入れ時攪拌しつゝ約拾分間熱して常温に冷却したる後硫酸を加へて未だ變化せざる油をフラスコの頸部に達せしめ遠心分離器を用ひて之を分離し拾貳時間を經過すれば其容量を測定し得べし。

資料

ヴァニス原料に就て

産地及品質

ヴァニス原料ゴムコパールは主としてアフリカに産し東アフリカより産するものは主にザンシバルより輸出せられ西アフリカより産するものはシエラレオ、ゴールドコースト、南シエリア其他より輸出せらる、ゴムコパールに化石せるコパール及樹木より採れるコパールの二種なり前者は嘗て樹木の繁茂したる地中より掘出するものにして高價なり、後者は生木より採取す。

ヴァニス原料ダマールは蘭領東印度諸島、英領東印度諸島、馬來聯邦諸州、及英領北ボルネオ等より英國に輸出せらる。

價格

倫敦の Figgis & Co. の大正三年五月七日に於ける價格を示せば左の如し。

品名	單位 Cwt
Little mixed	82/6
Small & Medium	53/-
Nubbles & chips	42/-
Chips, sandy	28/-
スマラタ (Sumalata) 産	
Small & Medium, amber & redish	50/-
マニラ及マカツサー産	
Amber & redish, scraped	57/-
Amber, park dark	51/-
Small & Medium, yellow pipey	39/-
Chipe, ambery, rather	39/-

Soft sorts, mixed, part dark 31/-

ダマール

新嘉坡産

Ambery sorts 65/-

Black

Small & medium, part scraped 9/6

一年間輸入高

コパール及ダマールの英國に於ける消費量に就きては取調の方法なきのみならず貿易年表に於ては其他ゴム類 (Gum, unenumerated) なる品目の下に acroides, animi, benzoin, dammer, dragon's blood, chicle, copao, elemastic, myrrh, oilbanum, sandarac, tragacantl 等を包括して示せるを以て其精確なる數字を得ん事は能はざるも當地商業會議月報の掲載する所によればアフリカがゴールドコーストより千九百十一年度に於て八萬四千二百封度 (價格千百十磅)

資料

千九百十二年に於て六萬七千三百三十三封度 (價格千七十七磅) のゴムコパールを輸出しシエラム、オネよりは千九百十一年には二十八噸 (價格六千七百七磅) 千九百十二年には十七噸 (價格六千七百七磅) のゴムコパールを輸出しダマールは馬來聯邦諸州より千九百十二年に五百二十四担 英領北ボルネオより同年度に七萬二千五百九十六担 (價格十五萬九千六百九十九弗) を輸出せり。

英國貿易年表により其輸入せしゴム類の項を示せば左の如し。

輸入先	一九一二年		一九一三年	
	Cwt	磅	Cwt	磅
海峽殖民地	五四四四	九〇八九六	五二六三	九一七二五
印度	五四九四	一五三三三	六九五三	三二五七〇
ザンシバル	三三三三	一〇四三六	九四二	四五七七
亞丁	九二五	二六二〇	五九三	一六八一
シエラ、レオネ	三三九	一三九八	五八〇	二八五三
濠州	四四五一	一七七六	四九四六	二四二七

一一

資料

其他英領諸地	一、四三	七、八六	二、三五八	九、二七六
總計(英國)	七、〇〇八	三、〇〇六	六、七、五五二	二、五、四九八
波 斯	二、五、六九	一、三、三九五	一、五、五二	九、〇、一八七
亞細亞土耳其	九、二八	六、一〇三	五、九〇四	三、五、三三
埃 及	四、六七六	一、六、一三五	二、三七一	六、三、七四
白 耳	二、六、七四	七、六、九〇六	三、五、四九〇	七、四、四一
和 蘭	二、八、四七	四、一、六七	二、九、七八二	四、九、九九
瓜 哇	一、六、九七〇	三、三、四五九	二、四、四九三	三、九、六六八
其他 蘭 領	一、二、二九三	一、八、四五二	二、五、五二九	二、四、四七
獨 逸	七、二、五七	一、四、四八	七、六、三〇	一、五、六二六
佛領西阿弗利加	一、五、〇五	六、六、八八	三、〇、五八	一、〇、二九
モ ロ ッ コ	六、六、四三	二、八、三五	五、六、七九	一、八、三〇九
コンゴ自由國	三、三三	六、五、六	四、三、九五	八、〇、九九
其他 諸 國	二、〇、四八六	三、六、三四一	一、一、二二	二、五、〇六八
總計(外國)	一、六、二、七〇	四、八、四九四	一、六、二、〇六五	三、九、二、五八八
總 計	三、三、二、七六	五、七、八、五三三	三、九、六、〇〇〇	五、二、八、〇六六

亞麻仁油に就て

A 生

本邦亞麻仁子の産地は北海道にして一ケ年の産額約七萬俵滿洲及關東州より輸入のもの約四十五萬斤なり北海道産は纖維を目的とし種子はその副産物なれば搾油用としては十分適當なるものとは言がたし其收穫期は九月末より十月中なるを以て種子の出廻りは十一月より二月迄位にして滿洲産は凍港の遅速によりて一定ならざるも一月乃至四月を出廻時期と見て差支なかるべし左れば亞麻仁油の相場は十二月乃至三四月を最低とし七月以降を最高とすべし此油も他の原因に因りて相場の變動を生ずることあれば一概に種子の出廻りのみと以て相場の高低を斷定する能はざるは勿論なり今左に米國シカゴ市に於ける一九〇一年より一九一五年に至る十五ケ年の純亞麻仁油米一噸の毎月高低相場を掲げ參考に供す本邦累年の相場参照せば蓋し思半に過ぐるることあらん。

本表に依れば十五ケ年中一九〇三年より一九〇八年の五ケ年間は價格通じて低廉にして一九一〇年

より一九一二年の三ケ年は特に高價なり。

年	一月		二月		三月		四月		五月		六月		七月		八月		九月		十月		十一月		十二月	
	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低
1901	53	60	60	65	60	59	56	60	60	60	60	67	75	80	80	46	40	65	53	60	50	56	46	56
1902	55	60	60	62	62	62	61	63	62	63	63	64	64	64	64	56	54	45	45	40	45	41	43	44
1903	44	44	42	42	42	42	42	41	41	41	41	37	38	32	32	32	37	33	35	32	32	33	33	33
1904	33	39	39	39	39	39	39	39	37	36	36	36	36	42	42	41	41	37	37	36	36	37	38	39
1905	40	39	39	43	44	43	43	44	44	46	46	46	46	49	50	46	45	36	36	35	35	34	35	39
1906	39	42	40	37	37	38	37	38	38	36	35	36	34	35	34	35	34	35	34	41	45	39	38	39
1907	38	39	38	39	38	39	38	39	39	40	42	42	42	39	37	39	38	41	41	45	38	41	38	38
1908	38	39	39	39	39	39	38	39	38	40	40	40	40	41	41	42	39	42	38	39	49	45	45	46
1909	48	53	53	53	54	54	54	55	55	56	56	58	58	54	54	48	48	50	50	60	60	60	61	68
1910	73	77	72	74	74	79	79	83	79	83	83	80	80	88	85	88	89	101	88	95	91	95	84	91
1911	86	95	94	95	89	93	88	90	86	88	88	82	85	80	81	79	84	84	90	79	87	87	71	60
1912	68	73	64	70	64	70	70	71	69	74	74	76	64	74	63	66	62	67	48	62	42	47	40	42
1913	40	45	45	47	42	43	42	45	43	45	42	44	45	47	47	51	49	50	44	47	44	46	46	47
1914	45	48	47	52	48	52	49	51	48	50	50	51	50	60	54	60	45	56	41	42	39	35	41	47
1915	48	60	60	57	54	63	59	61	63	66														
平均	49.8	54.2	52.4	54.2	52.4	54.2	53	54.4	53.8	54.9	52.8	54.4	53.2	56.1	54.5	52.4	50.1	53.5	47	51	47.1	49.2	46.5	49.5

資料

米國に於ける塗料原料價格

近時戦争の爲めペイント製造原料著しく騰貴せる事は普く世人の知る處なり今参考の爲め米國シカゴ市六月二十三日發行ペイント週報により左に譯載せん

品名	前價	現時相場
亞麻仁油	四五仙	六〇仙
乾白レツド	五 $\frac{1}{4}$ "	七 $\frac{3}{4}$ "
米式亞鉛華	五 $\frac{1}{4}$ "	七 $\frac{3}{4}$ "
佛式亞鉛華	八一九"	二五—二六"
リトボン	四"	五 $\frac{1}{4}$ "

備考 米式亞鉛華とは亞鉛鑛石より製造せるものにて多少の鉛を混入し佛式亞鉛華とは製練せられたる亞鉛塊より製したる純亞鉛華なり
米式亞鉛華は獨逸式亞鉛華と同様なり

絹布防水劑の應用

本品研究の趣旨及び内容等は前號に於て偽らざる告白として讀者の前に發表せり、元より絹布の防水を目的として研究したるものなるが故に其當初の研究對象たる絹布に専用すべく之れを本品名稱に冠したりと雖も其應用の部門は甚だ多かるべきを思ふ、之れを應用の方面より記述せんとす。

シルク、ハットに應用

御承知の通りシルクハットに雨の降りかゝりし時は最早再び使用し能はざるものとなるべし、高價のシルクハットも時雨の爲めその用を爲さざるに至る殊に本年は、御即位の大典を舉行せらる、例令不幸にして天候に變化あると雖も所定の日を以て舉行せ

女帶地に應用

近來アンダーベルトと稱して御婦人方の帶下に使用して汗の浸出を防ぐものあれどこれも完全なるもの少なしと聞く。只ださへ暑きうちに斯かるものを締むる事は到底堪へざる處なるべし、左れと慎み深き御婦人達は汗の浸出をおそれ暑さを耐へて之れを用ふるものあれど帶地又は上着にこの防水劑を加工すれば涼しくして汗のしみ出る憂更になし早速御用ゐあらん事を希望す、最早アンダーベルトは時代遅れのものとなれり。

洋傘に應用

近來御婦人向バラソルは著しく發達し來り如何なる邊陲の地に至るも絹張バラソルを見ざるはなし、而してその趣向流行も自から異なれども概して色物多く暑中は薄色又は白の流行盛なり、御承知の如く

襦袢の袖、半襟に應用

らるゝものなれば御大典に參列せらるゝの諸君はシルクハットに本品を使用すれば何等不安なく雨中をも潤歩して此の式典に望み得べし、爲めに近來此の方面に加工を申込み來るもの多し、市内有名なる某呉服店は宮内省よりの御用を蒙れり、諸君は一刻も早く御一考を煩はし度し。

暑氣烈しき昨今座敷にあるも外にあるも玉なす汗は止め度なく流れ半襟も襦袢も水に浸せしが如くなりその氣持の悪しき事言はん方なし、而して汗の乾き去りしあとに滲みを生じ實に不快を感ず、然るに本防水劑を施せば滲みも汗も少しも浸むことなく肌を拭き去ればまた元の儘にして其清々たる氣持は新なる活動を生む元となる、殊に客商賣をせらるゝ向きの御婦人方には是非共必要缺くべからざるものなり。

今日のバラツクは全く實用を離れ御飾り向きとなり居るを以て一度雨に逢ふ時は色褪せ又は滲み出で、非常にその美を害する事多し去れば眞に裝飾の目的を遂げ且つ永遠にその地質を保ち小雨の際には雨よけの具となる爲めにはこの防水剤を使用せざるべからず殊に薄色ものは強烈なる日光に直射せらるゝ時は色焼けを來し見るに堪へざるものとなり折角御求めの品も亦日ならずして張替又は新調せざる可からざるに至る、一刻も本品の存在を忘る事はそれだけ諸産の御損なり、先づ一度御試験あらん事を乞ふ。

商況

歐洲戰亂逆轉し來りて戰爭は益々長からんとす、露國はガリシヤに大敗して今やワルソ撤退の悲況にあり、こは世界經濟上に少なからざる影響を與ふる事なるべし、我が國に於ても近く政變を來さんと

一六
し御大典を眼前に控へて此の政變は經濟界に及ぼす事甚大なり、不景氣は益々加はりて世は如何になり行くべきか不安に堪へず、金融は緩漫にして銀行家は手元有高に困り居る有様にして而かも嚴重なる警戒を加へ居るの奇現象あり、以て經濟界が變調子のもとにある事を知べし。塗料界も著しく不景氣にして荷動き活潑ならずして相場の高騰あるのみ、唯ださへ荷動きなき此の際價格の騰貴は益々この勢を加ふるのみ。

ホワイト シンク

前月に比し相場幾分上向きたり、該値段は未だ樂觀をゆるさず、或る筋の者は目下の相場を以て低値と見居るやに聞けとも吾人は斯く信せざるものなり、殊に歐洲戰亂今日の逆轉は聊か悲觀の材料たり大に警戒を要す、ハバックス、シンク、ペイントは品薄にして十一圓以上を以て市場の相場たるが如し、從つて内地製ペイントも一般に腰強し。

光明丹

地金の騰貴により各製造所共一方の値上げを爲すに至れり、鉛地金相場も漸次氣構來りしを以て大に注

意を要す。

各色

ペイント

安物ペイント類南洋、印度、支那露西亞等よりの注文入り來る、何品に限らず外國行きは悲しむべき事は皆競うて安物に着眼せられつゝあるは日本のペイント工業の爲め悲しむべし願はくは品質優良なるもの値段の上にて協定點を見出し以て外國品と競争せしめたし、外國品は殆んど入荷なし。

雫の玉

焦げつく様な暑さ、山の端にあらはれた雲の峯、バラツときた飛礫の雨に、道行く人が蜘蛛の子を散らす様に驅け出した、右に行く人左に走る車、走馬燈のそれならで實に面白い自分は飽かぬ眺めに諸の影を追うて居た、自分は今とある老舗の軒端に雨宿りして居る事

一七
に不圖氣が付いた。老舗では頭の禿げた時代物の番頭君が口矢釜敷小僧供を叱る聲が聞える。古色燦然たる代物が明治や大正の教育を受けた人間を壓迫して居る様では日本の文明が後戻りしない以上は此の店は發展出來ないかも知れないと思つた其時に古物先生は鋭い目を私の方へ向けた、私は私の思つた事が向ふに通じたのかと思つて驚いて視線を路の方へ返した。すると天女の様な美しい姫様がベールを冠つて雨の中をやつて來た。身には明石のうすものを着てその上に紋紗御召のサンマコーートを羽織つて、それが丁度蟬が羽根で身を包んで居る様に見える。雨が一しきりどつと降つた。姫様は平氣で御歩い遊ばされる。私はこの不思議なる光景を見て人間ではあるまいと思つた。真く見るとベールにかいつた雨が大きな玉小さな玉となつてコートの上を傳つて流れて居る、それが續いて落ちるから丁度ビードルの簾をかけた様に見える。私は自分で自分の目を疑うて見ました。けれどもどう見ても人間だ、而かも美しい姫様だ。雨が玉となつて姫様を傳つて居る。私は此のマジック的光景に酔うて姫様に口を開いた。「これは防水がしてあるのよ何も驚く事がないわ」とお姫様の酸漿の様な口から漏れた。此の時にはもう雨はきれて強い日ざしが姫様を射た。ピカと光つて雫の玉が散つたカヤツと思ふと七つの色が鍋蓋の様に現はれた。此の時には姫様のやさしいお姿はいづこかへ消えて居た。自分も今更の様に文明の力を感じて家路に就いた。

相場表

イイイイイイ ラルヌリチト		イイイイイイ ヘホニハロ〇		電信略號	
♡同同同冠 ハ ツ ク ス 向 獅 子 印		♡風△同冠 ハ ツ ク ス 向 獅 子 印		品名	
第二類 白鉛ペイント		第一類 白亞鉛ペイント		定價	
印 C B A A A 印		印 印 印 B A 印			
三、二五〇 四、五〇〇 四、九五〇 五、三〇〇 六、〇〇〇 五、八七〇		四、〇〇〇 七、五〇〇 九、〇〇〇 一〇、五〇〇 一、〇〇〇 一、二、〇〇〇			
イイイイ オノウム		イイイイイ ラナネツリ		イイイイイ レタヨカワ	
同同冠 ⊕ 印 同同冠 ⊕ 印		同同冠同 向 獅 子 印 同 同 冠 同 向 獅 子 印		同同冠同 向 獅 子 印	
〇黒色		〇青色		第三類 各色ペイント 〇紺色	
S B A		S B A シル		S B A ト	
二、七〇〇 二、八〇〇 三、一〇〇 五、〇〇〇		三、五〇〇 四、九〇〇 五、九〇〇 六、五〇〇		三、五〇〇 六、二五〇 六、六〇〇 七、〇〇〇	

イイイ ミメユ		イイ キサ		イイイイ アテエコ		イイイイ ケマヤク	
同同冠 印		同冠 印		同同冠 ⊕ 印		同同冠 ⊕ 印	
〇赤色		〇赤錆色		〇錆色		〇黄色	
S B A		S A		S B A		S B A	
一〇、五〇〇 五、二〇〇 四、六五〇		三、〇〇〇 二、七〇〇		四、七〇〇 二、九〇〇 二、七五〇 二、六〇〇		四、七〇〇 三、三五〇 三、一五〇 二、八五〇	
ワラルヌリチト		ヘホニス		イイイイ セモヒシ		イイイイ セモヒシ	
同同冠 ⊕ 印		同同冠 ⊕ 印		同同冠 ⊕ 印		同同冠 ⊕ 印	
〇黒色		〇黒色		〇黒色		〇黒色	
S B A		S B A		S B A		S B A	
五、〇〇〇 一〇、六六〇		八、二〇〇 三、〇五〇 三、五〇〇 三、三八〇		一〇、四〇〇 一、二〇〇 二、五〇〇 四、五〇〇 四、八五〇		四、三〇〇 四、六〇〇 四、四八〇 三、九七〇	

力	冠印	鼠色	一封度	四〇〇
ヨ	同	白色	同	五〇〇
タ	同	黒、青、等	同	三五〇

本品ハ一種ノ調合製ベイントニシテ特ニ防
錆ベイントトシテ製造セラレタルモノナリ

第六類 船底塗料

レ	金帆前印	一函十哦	六五、〇〇〇
ソ	スタンダード	同	四二、〇〇〇

第二部 光明丹

〇レツド、レツド二十八封度入

ツ	ハバツクス向獅子印	五、〇〇〇
ネ	同	四、六五〇
ナ	同	四、五〇〇
ラ	同	四、四五〇
ム	同	四、三〇〇
ウ	同	四、二五〇

〇百斤銅古入

ノ	鯨	一號	二一、〇〇〇
オ	同	二號	一九、九〇〇
ク	同	三號	一八、八〇〇

第三部 ドライヤ

第一類 糊 状

〇二八封度入

ヤ	ハバツクス向獅子印	七、〇〇〇
マ	同	五、五四〇

〇二封度入

ケ	ハバツクス向獅子印	五、〇〇〇
フ	同	四、〇〇〇

第二類 液 状

〇二封度入

コ	旗	八、〇〇〇
---	---	-------

本品ハ液体ナルガ故ニ使用上尤モ便利ナリ
ボイル油ニ容易ニ混和溶解ス乾燥力強キヲ
以テ少量ヲ以テ塗り塗上後ノ効果ヨシ

第四部 諸油

第一類 ボイル油

〇五哦入鐵丸罐

エ	ハバツクスベール	一三、五〇〇
テ	冠	九、六〇〇
ア	同	九、三〇〇
サ	同	八、八二〇
キ	同	八、四〇〇

〇石油罐詰

ユ	冠	七、六〇〇
メ	同	七、四〇〇
シ	同	七、〇〇〇
ヒ	同	六、六三〇
モ	同	五、八〇〇
セ	同	五、二〇〇

第二類 生亞麻仁油

相場表

ス	ハバツクス	五哦入	一三、〇〇〇
ニ	冠	四哦入	七、五〇〇

第三類 機械油

〇壹斗入二罐一函ニ付
日本石油會社製品

ホ	スビン	油	一號	三、八〇〇
ヘ	同	同	二號	四、〇〇〇
ト	同	同	同	四、五〇〇
チ	同	同	同	三、八〇〇
リ	同	同	同	五、五〇〇
ヌ	同	同	同	三、六〇〇
ル	同	同	同	四、〇〇〇
ワ	同	同	同	四、四〇〇
カ	同	同	同	五、九〇〇
ヨ	同	同	同	六、九〇〇
タ	同	同	同	一、九〇〇
ハ	同	同	同	三、八〇〇

△印 礦油

ホホホ ソレタ	第五類 瓶詰ワニス	ホホホホホホ ヨカワラルヌリチ	第四類 雜	ホホニニニ トヘスセモ
フ同黒	ルニス	同同冠同同 同印黒同同 飴ニス	三ア同同同 ス 駝 印	同同同 一 キヤレツヂ インサイド ル
船來	和製	六合入 一斗入 一斗入	六五〇〇 六〇〇〇 二二〇〇 一六〇〇 一五五〇 自三五〇〇 至六五〇〇 三五〇〇	一〇五〇〇 九五〇〇 八〇〇〇 一〇五〇〇 品切

ホマ 顔	第二類 エナメル	ホホホ ヤクオ	第七部 各種小罐詰	ホホホホホホ ノウムラナネツ
印		同同冠 同同冠	第一類 溶解ベイント	南節ラ真金白 京止ッ ワニク ニス ス
一罐		C B A		光艶記 豐榮記 雄喜號
		二二〇〇 二二〇〇 二二〇〇		光ニス 船來
		五〇〇		三二五〇 四〇〇 六〇〇 五〇〇 九〇〇 九〇〇 八〇〇

本品は原料を精撰し其粘着につき注意せ
るを以て填充後直ちに剥落する事なく實
に經濟的填充料なり



時勢の要求により生れたる

改良白色ペイント

定價一罐金七圓五十錢



亞鉛暴騰は亞鉛ペイントの價格を騰貴せしめて殆んど使用を困難ならしむ此の時に當り品質の改良を圖り割安に使用せしめんとする目的を以て生れたるものは本品なり諸君!! 本品を使用する事を一刻延ぶれば一刻の損があります

第五類 瓶詰ワニス				第七部 各種小罐詰			
ホ ソ レ タ	ホ	ホ	ホ	ホ マ 顔	ホ ヤ ク オ	ホ	ホ
フ	同	黒	冠	顔	同	同	冠
ル		ワ	印	印	同	同	印
ニ		ニ	黒	印	同	同	黒
ス		ス	ワ	印	同	同	ニ
舶		和	ニ	印	同	同	ス
來		製	ス	一	同	同	一
		來	一	斗	同	同	斗
			斗	入	同	同	入
六 五 〇		五 〇 〇	五 五 〇		三 五 〇		一 六 〇
			自		三 五 〇		一 五 五
			至		六 五 〇		〇
			六 五 〇				〇
			〇				〇
							〇
							〇
							〇

ナシ得ルヲ以テ家具用トシテハ尤モ適ス

本品は原料を精撰し其粘着につき注意せ
 るを以て填充後直ちに剝落する事なく實
 に経済的填充料なり



改良パテ

七十ボンド罐入
 青印 四、二〇〇
 赤印 二、七〇〇

東京市日本橋區本石町四丁目一番地

尾張屋 飯田連庫本店

ホホホホホ メユキサア	ホホホホホ テエコフケ	第三類 アンバー	ホホホホホ アウ 鳥ス アビ 耐酸 ザボン	第一類 顔料 ○鉛華	第八部 雜種
同ハ同ハ マツク	同ハ同ハ マツク	同ハ同ハ マツク	同ハ同ハ マツク	同ハ同ハ マツク	同ハ同ハ マツク
赤茶黒茶黃 封壹) (入度封二)	同同同同 封壹) (入度封二)	同同同同 封壹) (入度封二)	同同同同 封壹) (入度封二)	同同同同 封壹) (入度封二)	同同同同 封壹) (入度封二)
一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇
七二〇	七二〇	七二〇	七二〇	七二〇	七二〇
一三三〇	一三三〇	一三三〇	一三三〇	一三三〇	一三三〇
四四〇	四四〇	四四〇	四四〇	四四〇	四四〇
一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇
三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇
四四〇〇	四四〇〇	四四〇〇	四四〇〇	四四〇〇	四四〇〇
五五〇〇	五五〇〇	五五〇〇	五五〇〇	五五〇〇	五五〇〇
六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇
七七〇〇	七七〇〇	七七〇〇	七七〇〇	七七〇〇	七七〇〇
八八〇〇	八八〇〇	八八〇〇	八八〇〇	八八〇〇	八八〇〇
九九〇〇	九九〇〇	九九〇〇	九九〇〇	九九〇〇	九九〇〇

相場表

ホ ス セ	兵 器 黒 塗 具 一 基 各 色	第四類 其他	ホ モ	ホ ヒ	ホ シ	ホ ミ	ホ メ	ホ ユ	ホ キ	ホ サ	ホ ア	第三類 アンバー	ホ テ	ホ エ	ホ コ	ホ フ	ホ ケ			
			⊕	同	同	同	同	ハ	同	ハ	⊕		ザ	耐	ア	鳥	ア	ア	ウ	ル
			印		上		ツ	ク	ス	ス	ス	同	同	一	哦	同	一	罐		
			黄	青	紺	紺	赤	茶	黒	茶	黄									
			(入度封壹)			(入度封二)														
			一 五 〇 〇	四 〇 〇	六 〇 〇	八 〇 〇	一 五 〇 〇	五 〇 〇	四 四 〇	一 三 二 〇	七 二 〇	一 〇 〇 〇	一 一 〇 〇	一 五 〇 〇	一 三 〇 〇	四 五 〇	四 五 〇			
ヘ タ ヨ	バ ラ イ テ ス 同	〇其他繪具粉末	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ
				同	並	特	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等
			二 一 〇 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇
ヘ タ ヨ	バ ラ イ テ ス 同	〇其他繪具粉末	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ
				同	並	特	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等
			二 一 〇 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇
ヘ タ ヨ	バ ラ イ テ ス 同	〇其他繪具粉末	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ
				同	並	特	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等
			二 一 〇 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇
ヘ タ ヨ	バ ラ イ テ ス 同	〇其他繪具粉末	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ
				同	並	特	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等
			二 一 〇 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇
ヘ タ ヨ	バ ラ イ テ ス 同	〇其他繪具粉末	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ	ヘ カ ワ
				同	並	特	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等
			二 一 〇 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇	二 一 五 〇

二五

改良パテ



七十ポンド罐入
青印 四二〇〇
赤印 二七〇〇

尾張屋 飯田連庫本店

東京市日本橋區本石町四丁目一番地

品質松印テレメン以上の評あり

ターペンタイン

□ 納入先 □

帝國鐵道院、朝鮮總督府鐵道局、東京砲兵工廠、橫須賀海軍工廠、東京陸軍兵器支廠、鐵道聯隊材料廠、株式會社日本製鋼所、各ベイント製造工場、各ソニス製造工場、各靴墨製造工場。株式會社芝浦製作所、其他各地電氣鐵道會社、

販一賣手 飯田連庫本店

香 氣 佳 良

東京府原郡品川町南品川廣
合資會社
大正テレメン製所

純國產 木材防腐劑



東京市日本橋區本石町四丁目

電話本局 四七五二番
三〇三九番

尾張屋 振替東京一〇七〇七番

飯田連庫本店

用途廣汎。價格低廉

一升入罐 金參拾錢

一斗入罐 金壹圓八拾錢

偽物御注意!!!

品質松印テレメン以上の評あり

ターペイタイン

□ 納入先 □

帝國鐵道院、朝鮮總督府鐵道局、東京砲兵工廠、橫須賀海軍工廠、東京陸軍兵器支廠、鐵道聯隊材料廠、株式會社日本製鋼所、各ベイント製造工場、各ソニス製造工場、各靴墨製造工場。株式會社芝浦製作所、其他各地電氣鐵道會社、

販一賣 飯田連庫本店

香 氣 佳 良

東京府原部川町南品川廣
合 資 會 社
大 正 テ レ メ ン 製 造 所

純 國 產
木 材 防 腐 劑



用 用 用
築 木 庭
建 土 家

東京市日本橋區本石町四丁目

電話本局 國七五二番
尾張屋 振替東京一〇七〇七番

飯田連庫本店

用途廣泛。價格低廉

一升入罐 金參拾錢

一斗入罐 金壹圓八拾錢

偽物御注意!!!

製 作 品

電氣軌道及鐵道用品

船舶、鑛山、紡績用品

瓦斯發生機及石油發動機

電 動 機、發 電 機

農 具 用 品

其他諸機械部分品一切

可 鍛 鐵 專 門

關西鑄鐵所

工場主 角谷元三郎

創 立

明治三十七年

東京市日本橋區本石町四丁目

販 賣 所

飯田連庫本店

工 業 部

電話本局 長七五二
二〇二九

電 氣 絕 緣 用
印 刷 イ ン キ 用
防 水 布 用
車 輛 屋 根 用

としての

ロヂン、オイル

(樹 脂 油)

定價壹斗金七圓五十錢

尾張屋

飯田連庫本店

製 作 品

電氣軌道及鐵道用品

船舶、鑛山、紡績用品

瓦斯發生機及石油發動機

電 動 機、發 電 機

農 具 用 品

其他諸機械部分品一切

可 鍛 鐵 專 門

關西鑄鐵所

工場主 角谷元三郎

創 立

明治三十七年

東京市日本橋區本石町四丁目

販 賣 所

飯田連庫本店

工 業 部

電話本局(長七五二) 二〇二九

電氣絶縁用
印刷インキ用
防水布用
車輛屋根用

としての

ロヂン、オイル

(樹脂油)

定價壹斗金七圓五十錢

尾張屋

飯田連庫本店

絹用 王冠印防水劑



御大典の御準備

英國の戴冠式に一日の衣類保険生る一回の晴雨
は新調の御着類と重大なる關係あり

シルクハット、大禮服、御紋付、袴、コート
其他御召物に防水加工をお忘れ召さ
るな

本品は何人も家庭に於て平易
に加工し得

東京市日本橋區本石町

輸入商 飯田本店

電話本局一長七五二
三二九番
振替東京一〇七〇七番

定價 一瓶 七十錢

終